

第2期 事業報告書（2015 - 2016年度）

全国で初めて、重症心身障がい児を主たる対象とするデイサービスの組織として2014年に始動した全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク・2期は、「基礎づくり」に力を入れ、①会員事業所の拡大と②地域ブロックの体制の充実を図った。

	設立時 (11/2)	第1期	第2期	前期比
会員数 (正会員+準会員)	35	71	144	+73

①2年続けて会員数は倍増し、全国で144事業所になった。(16年9月30日現在)会員数の増加は、組織規模の拡大から社会に対する影響や発信力の増大につながる。一方で、1つも事業所の加入がない地域(空白地域)は13県あり、日本海側が特に多い。

②現在、全国6つのブロック(東日本、関東、中部、関西、中四国、九州・沖縄)で構成され、通常はこのブロックを中核に活動している。3ヵ月に1回程度開催しているブロック会議では、運営に関わる情報交換や事業交流を進めると同時に、合同研修などを通じて、重症児デイサービスの質的向上を積極的に図った。

行政との関わりでは、都道府県・政令市・特別区ごとに指定基準の判断が異なる状況は残念ながら変わっていないが、会員同士の情報交換や共有によって、新規で重症児デイサービスを開設する動きは増え、全国の状況を把握することが少しずつできてきた。

<事業の目的>

重症心身障がい児が全国どの地域でも普通に暮らせるよう支援することを目的として、定款・第4条において、以下の事業を行うことを定めている。

(1) 情報・交流

事業者間の情報交換や交流などを行う。

(2) 研修・教育

共同研修や勉強会などを行う。

(3) 渉外・広報

国や自治体への政策提言や交渉若しくはパブリシティなどを行う。

(4) 新規設立・経営支援

事業所の新規設立、運営、経営に関する支援などを行う。

(5) 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(6) 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

(7) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく

障害福祉サービス事業

- (8) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく
地域生活支援事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく
特定相談支援事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく
一般相談支援事業
- (11) 介護保険法に基づく居宅サービス事業
- (12) 介護保険法に基づく介護予防サービス事業
- (13) 健康保険法に基づく指定訪問看護事業
- (14) 介護職員等による喀痰吸引等の実施に関する研修事業
- (15) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

第2期は、このうち(1)情報・交流、(2)研修・教育、(3)渉外・広報、(4)新規設立・経営支援に係る活動を行った。

(1) 情報・交流

1 ブロック会議

3ヵ月に1回程度開催し、情報交流や意見交換が活発に行われてきた。期初「関東ブロック(現:東日本ブロックとの合同)」「中部ブロック」「関西ブロック」「西日本ブロック(現:中四国ブロックと九州・沖縄ブロックの合同)」の4ブロック体制から、会員数の増加から、「東日本」「関東」「中部」「関西」「中四国」「九州・沖縄」の6ブロック体制へ移行。そして運営体制も、ブロックごとによって特長が表れるようになった。

ブロック会議の開催 ※開催回は、それぞれ1期(2014-2015年度)からの通算

年月日		場所
2015年		
11月5日(木) 10:00~15:30	第1回 西日本ブロック(中四国と九州・沖縄の合同)	久留米市役所 くるみホール
11月22日(日) 10:00~15:00	第4回 関西ブロック	まーぶる (まーぶるにじょう)
11月29日(日) 10:00~15:00	第4回 関東ブロック(東日本との合同)	なかのドリーム
12月13日(日) 10:00~15:00	第5回 中部ブロック	障がい福祉施設こぼんだ
2016年		
2月9日(火) 10:00~15:30	第2回 西日本ブロック(中四国と九州・沖縄の合同)	久留米市役所 くるみホール

2月21日(日) 10:00~15:00	第5回 関東ブロック(東日本との合同)	キッズサポートりま
3月13日(日) 10:00~15:00	第6回 中部ブロック	国際医学技術専門学校 理学療法校舎
3月27日(日) 10:00~15:00	第5回 関西ブロック	新大阪丸ビル新館
6月5日(日) 10:00~17:00	第7回 中部ブロック	オレンジキッズケアラボ はあもにい永平寺
6月12日(日) 10:00~15:00	第6回 関西ブロック	ぬくもり(栄町センター)
6月19日(日) 10:00~15:00	第3回 西日本ブロック(中四国と九州・沖縄の合同)	じねんじょ
6月26日(日) 10:00~17:30	第6回 関東ブロック(東日本との合同)	うりずん 多職種研修会・シンポジウム
9月11日(日) 10:00~16:00	第7回 関東ブロック(東日本との合同)	合
9月11日(日) 10:00~16:00	第8回 中部ブロック	重症児デイサービス miki
9月18日(日) 10:00~15:00	第7回 関西ブロック	新大阪丸ビル別館
9月28日(水) 10:30~13:00	第1回 東日本ブロック	あいの実

ブロックごとの運営体制

設立時より、全国事務局である NPO 法人ふれ愛名古屋が中心となって、ブロック会議を運営した。第2期から、地域ブロック内において中心となる事業所が会議の運営を主導する体制(以下、「ブロック事務局」)に変更した。※必ずしも1事業所が担うのではなく、複数事業所で協力する場合もある。ホストとなった事業所を見学しながら、ブロック会議を行い事業所間の交流・研修するアイデアはブロック事務局から生まれ、他の地域ブロックに反映された。研修やシンポジウムも合わせて開催されたこともあった。

2 情報収集

職種や配置時間など人員配置基準の解釈、定員(5名)、加算(送迎加算など)の指導や判断が、都道府県・政令市・特別区ごとで異なっている状況はいまだ変わっていない。今期は、全国事務局が会員へヒアリングを行い、情報収集を実施。

その結果として、①「機能訓練担当職員」の、職種の解釈、人員配置の解釈における各都道府県・政令市の解釈を表にまとめている(ヒアリングできた地域のみ)。②「定員」の解釈について、基準が認める定員の解釈とは違う判断をしている都道府県の情報についてまとめた。

また、ブロック内での相談や意見交換によって、各都道府県・政令市の解釈における情報交換がされた事も数多い。例えば関東ブロックでは、ブロック内で運用されているメーリングリストを通じて、③「訪問籍児童の放課後等デイサービス利用」の具体的な対応方法などが、活発に情報交換された。

3 熊本地震への支援活動

大きな地震が発生した16年4月14日夜の翌日より、九州各県における事業所の被害状況について調査を開始。熊本県内の事業所には、毎朝現地の状況をヒアリングした。4月16日、福岡・佐賀の事業所を通じて物資支援を行うことを決定。4月17日から全国の会員へ支援金を呼びかけた。※52件2,326,610円（9月30日現在）

一時閉鎖した事業所も多く、事業所を子どもたちと家族が多数避難した。特にケアが必要な子どもは緊急入院で対応し、水・食料・おむつなどが日に日に必要となった。福岡と佐賀の事業所が中心となり、地元購入した緊急支援物資を現地へ届けた。地震発生後およそ4日間で、ハイエース8台分の物資を届けることができた。

全国事務局では、日々ニーズが変化していく不足物資を、福岡と佐賀の事業所と連携して、ピンポイントで支援。県外避難の場所確保と受け入れ体制づくりなどを準備し、一時避難の受け入れとして、看護師や介護職など専門職のボランティア派遣をサポートした。※会員から3名が派遣され、活動費用の一部を補助。これらの支援活動に共感した、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（白書づくりの支援を受けた会社）から、支援金として75万円の寄付をいただいた。これら支援金の剰余金は、今後の「災害時支援基金」として整備していくことにしている。

(2) 研修・教育

1 ブロック会議にあわせた勉強会・研修会

各地でのブロック会議の開催に合わせ、勉強会や研修会が行われた機会があった。

事業所見学（同時に勉強会など）

関東ブロック（東日本との合同）会議では、なかのドリーム（東京都中野区）15年11月29日、キッズサポートりま（東京都墨田区）16年2月21日、うりずん（栃木県宇都宮市）6月26日、合（埼玉県越谷市）9月11日、あいの実※東日本中心（宮城県仙台市）9月28日の見学が行われた。

中部ブロック会議では、障がい福祉施設こぼんだ（岐阜県岐阜市）15年12月13日、オレンジキッズケアラボ・はあもにい永平寺（福井県福井市、永平寺町）16年6月5日での見学や勉強会が行われた。

関西ブロック会議では、まーぶるにじょう（京都府京都市）15年11月22日、ぬくもり栄町センター（大阪府河内長野市）16年6月12日の見学や勉強会があった。

西日本ブロック（中四国と九州・沖縄の合同）においては、じねんじょ（山口県下関市）16年6月19日の施設見学が行われた。

シンポジウムへの参加

これらのうち、関東ブロック（東日本との合同）うりずん（栃木県宇都宮市）16年6月26日、合（埼玉県越谷市）9月11日では、ホストとなった会員が主催するシンポジウムやイベントに会員も参加でき、さらに学びを深める機会になった。

ネットワーク会員が多く参加した研修

「障がいの重い子のためのふれあい体操」著者である丹羽陽一氏（NPO 法人ひろがり代表理事）が行う各種の研修会に、会員から多くのスタッフが参加した。

研修会（一例）

- 「食べる力を育てる研修会」
- 「こころとからだにやさしい介護食づくり」
- 「ふれあい体操実践研修会」

2 他団体との連携による講師等

代表理事の鈴木由夫が、医療・福祉など関連分野（協議会、研究会等）のシンポジウム等において講師・パネリストとして派遣した内容を、以下の通り報告する。

○15年11月14日（土）島根県米子市

重症児の在宅支援を担う医師等養成 主催：鳥取大学医学部

題名「重症心身障がい児・者の地域生活を児童デイから創る」in 米子コンベンションセンター

○15年12月6日（日）愛知県名古屋市

第20回小児領域の地域リハビリテーション公開講座 主催：愛知県理学療法士会

題名「重症心身障がい児の地域生活支援」in TKP 名古屋栄カンファレンスセンター

○16年6月11日（土）鳥取県米子市

第27回日本小児科医会総会フォーラム 主催：日本小児科医会

シンポジウム名「プライマリーケアとしての重症心身障がい児医療～できることから始めよう、小児在宅医療の“ABC”～」in 米子コンベンションセンター

○16年9月21日（水）愛知県名古屋市

第17回小児在宅医療勉強会 主催：大同病院

題名「重症心身障がい児者の災害時支援 ～熊本県地震の支援から～」in だいどうクリニック 5F 講堂

○その他、各地で、重症心身障がい児デイサービスの活動を広げる講演を行った。

（3）渉外・広報

1 白書づくり

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社のソーシャルビジネス支援プログラム（プロボノ支援）によって15年7月より作成を進めていた「重度の障がいを持った子どもたちの地域生活白書」が、16年6月30日に完成。4,000部を発行した。

15年10月から11月にかけて、「事業所」「保護者」アンケートを実施。事業所については、会員に加えて、都道府県・政令市・特別区から調べた全国の施設・事業所に向けて行い、400カ所以上のアンケート送付に対して、212カ所の回答があった。また保護者については、会員のデイサービスを利用する家庭を中心に、全国で400名以上の

保護者へ配布し、213名の回答があった。会員およびアンケートに協力してくれた事業所には白書を贈呈した。16年7月5日、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社と共同記者発表を行い、全国25紙以上の地方新聞や業界新聞に掲載された。白書を読みたい！という声は全国に広まり、150件以上の問い合わせがあった。

2 白書を読む会

白書を単なる読みもので終わることはなく、「出会いの場」「交流の場」「行動の場」へ展開していくため、「白書を読む会」を各地で開催した。内容を以下の通り報告する。

- 16年8月13日（水）東京都港区
 - ・場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング・本社
 - ・参加人数：15名
- 16年8月21日（日）愛知県名古屋市
 - ・場所：ブラザーコミュニケーションスペース
 - ・参加人数：30名
- 16年8月22日（月）愛知県名古屋市
 - ・場所：ブラザーコミュニケーションスペース
 - ・参加人数：7名

3 議員への要望

白書の発行を機に、行政や政策提言関係とのつながりも進みつつある。16年8月、愛知県と岐阜県を皮切りに、自由民主党、公明党の市会議員、県会議員そして国会議員へ「重度の障害がいを持った子どもたちの地域生活を実現するための要望」を提出した。

（4）新規設立・経営支援

1 新規設立支援

全国事務局やブロック事務局の働きかけを中心に、新規設立の支援が行われた。【群馬、佐賀など】母親による重症児デイサービスの立ち上げが目立った。【京都、東京、名古屋】理学療法士や看護師など専門職が集まった重症児デイサービスの新規立ち上げも増えた。京都府、東京都などで行われた。

2 ネットワーク事業所数の増加

これまで空白地域であった、広島県・高知県・徳島県（中四国ブロック）、茨城県、群馬県・千葉県（関東ブロック）、青森県（東日本ブロック）などにも新たに会員となる事業所ができた。また沖縄県にも、初めて正会員となる重症児デイサービスができた。これらによって現在は、34都道府県に会員が存在している。増加の背景には、前述した(3) 渉外・広報活動における白書づくりの影響が大きい。2015年10月～11月に行った事業者アンケートで、当ネットワークを知った全国の事業所から申し込みが増え、2ヵ月で約30事業所が新しく仲間になる大きな動きとなった。